

事業報告書

2021年度（第12期）事業報告

2021年4月1日から

2022年3月31日まで

1. 役員等に関する事項
2. 理事会、評議員会及び諮問委員会に関する事項
3. 公益目的事業に関する事項
4. 寄附に関する事項
5. 行政庁に関する事項
6. 事業報告の附属明細書

1. 役員等に関する事項

(1) 役員に関する事項

2021年度には理事の改選はなかった。任期は2022年度定時評議員会終結時迄である。代表理事（理事長）として持田直幸理事、代表理事（副理事長）として青木誠理事、業務執行理事（常務理事）として中村民夫理事が引き続き職務を行った。

【理事】

持田 直幸、青木 誠、磯村 八州男、小澤 敬也、白土 邦男、杉山 雄一、谷口 克、永井 良三、中尾 一和、成宮 周、橋田 充、平野 俊夫、深見 希代子、福田 恵一、中村 民夫

2021年度には監事の改選はなかった。任期は2024年度定時評議員会終結時迄である。

【監事】

酒井 敏彦、堀江 利治

(2) 評議員に関する事項

2021年度には評議員の改選はなかった。任期は2022年度定時評議員会終結時迄である。山口建評議員が引き続き評議員会会長の職務を行なった。

【評議員】

山口 建、金丸 和弘、小柳 豊基、坂田 中、匂坂 圭一、中西 和俊、宮内 忍

(3) 選考委員に関する事項

非開示

(4) 諮問委員に関する事項

2021年度は高津聖志諮問委員が引き続き諮問委員長を務めた。

なお、2021年度には諮問委員の改選があり、2022年2月18日の第36回理事会において諮問委員27名が以下の通り選任された。任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する諮問委員会終結時迄である。

【諮問委員】

高津 聖志、赤羽 悟美、審良 静男、天谷 雅行、一條 秀憲、伊藤 浩、井上 純一郎、門脇 孝、熊ノ郷 淳、小室 一成、小安 重夫、清水 孝雄、高倉 喜信、高柳 広、中山 俊憲、西川 伸一、細谷 龍男、間野 博行、水口 清、山口 建、山崎 力、湯浅 博昭、吉村 昭彦、渡邊 裕司（以上再任）
岩井 一宏、高岡 晃教、水島 昇（以上新任）

2. 理事会、評議員会及び諮問委員会に関する事項

(1) 第34回理事会（2021年5月21日開催）

※WEB会議形式で開催

※WEB会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認された後に開催された。

| 議 題 | 審議内容 |
|-----------------------------|--|
| <決議事項> | |
| 1) 2020年度事業報告書承認の件 | <p>2020年度事業報告の内容について以下の6項目について説明がなされた。</p> <p>(1) 役員等に関する事項 (2) 理事会、評議員会及び諮問委員会に関する事項 (3) 公益目的事業に関する事項 (4) 寄附に関する事項 (5) 行政庁に関する事項 (6) 事業報告の附属明細書</p> <p>第1号議案と第2号議案は関連性があるため、議長の提案により両議案をまとめて審議することとした。</p> |
| 2) 2020年度決算報告書（計算書類等）承認の件 | <p>2021年3月31日現在の貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書及び財産目録の内容に基づき、当財団の損益及び財産の状況について説明がなされた。次いで、酒井敏彦監事及び堀江利治監事によって実施された監査について、監事を代表して酒井敏彦監事より監査結果として理事の業務の執行は適正に行われており、かつ事業及び決算報告書は適正に作成されていることを認める旨の報告の後、第1号議案と第2号議案はまとめて審議され、原案通り承認された。</p> |
| 3) 定期提出書類承認の件 | <p>内閣府公益認定等委員会へ提出義務のある2020年度事業報告等に係る提出書類について原案通り承認された。</p> |
| 4) 2021年度研究者招聘助成金交付対象学会承認の件 | <p>申請のあった研究者招聘助成6件全ての採択が原案通り承認された。併せて採択計画数に達するまで申請受付を継続することが承認された。</p> |
| 5) 事務局長選任の件 | <p>新事務局長について原案通り承認された。</p> |
| 6) 第23回評議員会（定時評議員会）招集の件 | <p>第23回評議員会（定時評議員会）の日時、場所、会議の目的事項が原案通り承認された。</p> |

| | |
|-------------------------------|---|
| ＜報告事項＞ | |
| 1) 寄附受け入れの件 | 公益目的事業会計費用として20万円の寄附があった旨の報告があった。 |
| 2) 租税特別措置法第40条の規程による承認申請の承認の件 | 2018年6月に寄付を受けた持田製薬(株)の株式について租税特別措置法第40条の規程による譲渡所得の非課税の申請をしていたところ、2021年2月8日付けで承認された旨の報告があった。 |
| 3) 2020年度助成金等交付辞退に関する件 | 2020年度留学補助第5領域の採択者に辞退者がでたため、第5領域の次点者を交付対象者とした旨の報告があった。 |

(2) 第23回評議員会（定時評議員会）（2021年6月11日開催）

※WEB会議形式で開催

※WEB会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認された後に開催された。

| 議 題 | 審議内容 |
|---------------------------|---|
| ＜決議事項＞ | |
| 1) 議事録署名人選出の件 | 議事録署名人として金丸和弘評議員及び坂田中評議員の2名を選出した。 |
| 2) 2020年度決算報告書（計算書類等）承認の件 | 2021年3月31日現在の貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書及び財産目録の内容に基づき、当財団の損益及び財産の状況について説明がなされた。次いで、酒井敏彦監事及び堀江利治監事によって実施された監査について、酒井敏彦監事より監査結果として理事の業務の執行は適正に行われており、かつ事業及び決算報告書は適正に作成されていることを認める旨の報告の後、2020年度決算報告書が原案通り承認された。 |
| ＜報告事項＞ | |
| 1) 2020年度事業報告の件 | 第34回理事会で承認された2020年度事業報告の内容について以下の6項目について報告があった。 (1) 役員等に関する事項 (2) 理事会、評議員会及び諮問委員会に関する事項 (3) 公益目的事業に関する事項 (4) 寄附に関する事項 (5) 行政庁に関する事項 (6) 事業報告の附属明細書 |

| | |
|-------------------------------|---|
| 2) 定期提出書類の件 | 第34回理事会で承認された、内閣府公益認定等委員会へ提出義務のある2020年度事業報告等に係る提出書類について報告があった。 |
| 3) 2021年度研究者招聘助成金交付対象学会の件 | 第34回理事会で6件の2021年度研究者招聘助成金交付対象学会及び採択計画数に達するまで申請受付を継続することが承認された旨の報告があった。 |
| 4) 事務局長の件 | 第34回理事会で承認された新事務局長について報告があった。 |
| 5) 寄附受け入れの件 | 公益目的事業会計費用として20万円の寄附があった旨の報告があった。 |
| 6) 租税特別措置法第40条の規程による承認申請の承認の件 | 2018年6月に寄付を受けた持田製薬(株)の株式について租税特別措置法第40条の規程による譲渡所得の非課税の申請をしていたところ、2021年2月8日付けで承認された旨の報告があった。 |

(3) 臨時理事会 (2021年6月13日)

※定款第51条第2項に基づく決議の省略

| 議 題 | 審議内容 |
|-----------------|--|
| 持田製薬(株)株主総会議案の件 | <p>持田製薬(株)株主総会議案に対する下記の中村民夫理事の提案に対し、議決に加わることが出来る理事の全員から文書により同意を、また監事から文書により異議が無い旨の意思表示が得られた。</p> <p>“第1号議案 剰余金の処分の件” に関しては異論なし</p> <p>“第2号議案 取締役10名選任の件” に関しては各取締役とも適任</p> <p>“第3号議案 監査役1名選任の件” に関しては監査役候補者は適任</p> |

(4) 第35回理事会（2021年9月10日開催）

※WEB会議形式で開催

※WEB会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認された後に開催された。

| 議 題 | 審議内容 |
|--|---|
| <決議事項> | |
| 1) 2021年度研究助成金及び留学補助金交付対象者並びに交付金額の決定の件 | 選考委員長より選考委員会の選考結果の報告があり、研究助成金（121件）及び留学補助金（20件）の交付対象者ならびに交付金額（研究助成金：300万円／名、総額3億6,300万円。留学補助金50万円／名、総額1,000万円）が承認された。また、留学補助金交付対象者については辞退も考えられることから、次点者、次々点者を設定し、繰り上げて交付対象者とすることも承認された。 |
| 2) 2021年度褒賞（持田記念学術賞）受賞対象者並びに贈呈金額の決定の件 | 選考委員長より選考委員会の選考結果の報告があり、西村栄美博士と大野博司博士に持田記念学術賞（副賞：1,000万円/名、総額2,000万円）を贈呈することが承認された。 |
| 3) 2021年度研究者招聘助成金交付対象学会承認の件 | 2021年度研究者招聘助成金交付対象学会について継続受付の結果、追加で4件の申請があった旨の説明があり、本申請4件の学会について承認された。 |
| <報告事項> | |
| 1) 理事長、副理事長その他の代表理事及び常務理事の職務執行に関する件 | 2021年1月1日から8月31日までの理事長、副理事長及び常務理事の職務執行について各々報告があった。 |

(5) 第19回諮問委員会（2022年2月18日開催）

※WEB会議形式で開催

※WEB会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認された後に開催された。

| 議 題 | 審議内容 |
|-----------------|--|
| <決議事項> | なし |
| <報告事項> | |
| 1) 2022年度事業計画の件 | 第36回理事会において審議される2022年度の事業計画について報告があった。 |
| 2) 2022年度予算の件 | 第36回理事会において審議される2022年度予算について報告があった。 |

| | |
|------------------------|--|
| 3) 2022年度選考委員長及び選考委員の件 | 第36回理事会において審議される2022年度選考委員長候補及び新任選考委員候補6名を含む選考委員候補19名について報告があった。 |
| 4) 次期諮問委員の件 | 第36回理事会において審議される新任諮問委員候補3名に再任24名を合わせて次期諮問委員候補27名について報告があった。 |

(6) 第36回理事会(2022年2月18日開催)

※WEB会議形式で開催

※WEB会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認された後に開催された。

| 議 題 | 審議内容 |
|-------------------|--|
| <決議事項> | |
| 1) 2022年度事業計画承認の件 | <p>2022年度の事業計画について以下の説明がなされた。</p> <p>*助成事業</p> <p>【研究課題の件】</p> <p>2022年度の研究助成金等の募集研究課題を6研究課題とする。</p> <p>(1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究</p> <p>(2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能/病態解析に関する研究</p> <p>(3) 免疫/アレルギー/炎症/感染症の治療ならびに制御に関する研究</p> <p>(4) 循環器/血液疾患の病態解析/治療制御に関する研究</p> <p>(5) 創薬・創剤の基盤に関する研究</p> <p>(6) 創薬とその臨床応用に関する研究</p> <p>【採択件数・贈呈交付金額の件】</p> <p>(1) 研究助成は125件以内を採択し、1件あたり300万円とし、その予算を3億7,500万円とする。</p> <p>(2) 学術賞(褒賞)は2件以内を採択し、1件あたり副賞1,000万円とし、その予算を2,000万円とする。</p> |

| | |
|-----------------|--|
| | <p>(3) 留学補助は20件以内を採択し、1件あたり50万円とし、その予算を1,000万円とする。</p> <p>(4) 研究者招聘助成は20件以内を採択し、1件あたり50万円とし、その予算を1,000万円とする。</p> <p>【募集期間・選考・贈呈式の件】</p> <p>(1) 研究助成の公募期間は2022年3月1日から5月6日迄とし、留学補助の公募期間は3月1日から5月11日迄とし、持田記念学術賞の推薦期限を5月16日とした。</p> <p>(2) 研究助成金及び留学補助金交付対象者並びに学術賞候補者は2022年9月9日の選考委員会で候補者を内定し、同日に開催される理事会で決定する。</p> <p>(3) 研究者招聘助成は2022年3月1日から4月8日迄の申請期間で、5月20日の理事会で決定する。</p> <p>(4) 贈呈式は2022年11月11日に開催する。</p> <p>* 主要会議の開催</p> <p>【主要会議の開催の件】</p> <p>評議員会は2022年6月9日、2023年3月10日の2回開催。</p> <p>理事会は2022年5月20日、9月9日、2023年2月17日の3回開催。</p> <p>諮問委員会は2023年2月17日の1回開催。</p> <p>選考委員会は2022年9月9日の1回開催。</p> <p>第1号議案と第2号議案は関連性があるため、議長の提案により2議案をまとめて審議することとした。</p> |
| 2) 2022年度予算承認の件 | <p>2022年度予算について以下の説明がなされた。</p> <p>公益目的事業会計においては、2022年度の経常収益は持田製薬(株)の株式4,688,674株の受取配当金3億7,509万円(1株あたりの配当を80円として計算)のうち7,717万円と、定期預金等の受取利息3万円と公益事業準備資金3億4,569万円を取崩し、法人会計からの他会計振替した公益目的事業準備資金積立預金の2,000万円を主な収益として収益総額は4億4,300万円となる。</p> <p>経常費用総額は4億4,300万円であり、その経常増減額はゼロとなり収支相償を満たす計画である。</p> |

| | |
|------------------------------------|---|
| | 法人会計の収益は持田製薬㈱の株式1,000,000株の受取配当金8,000万円を見込んでおり(1株あたりの配当を80円として計算)、法人会計における費用は8,400万円を計画している旨の説明がなされ、その後、第1号議案と第2号議案はまとめて審議され、原案通り承認された。 |
| 3) 定期提出書類承認の件 | 内閣府公益認定等委員会へ提出義務のある2022年度事業計画書及び収支予算等に関する定期提出書類について原案通り承認された。 |
| 4) 2022年度選考委員長及び選考委員承認の件 | 2022年度選考委員長として小澤敬也理事の選定及び新任選考委員6名を含む選考委員19名の選任について原案通り承認された。 |
| 5) 次期諮問委員承認の件 | 新任諮問委員3名に再任24名を合わせて次期諮問委員27名の選任が原案通り承認された。 |
| 6) 第24回評議員会招集の件 | 2022年度の事業計画及び予算を報告するための評議員会の日時、場所、会議の目的事項が原案通り承認された。 なお、新型コロナウイルス感染の状況次第ではWEB会議形式により評議員会を実施する場合があることも含めて承認された。 |
| <報告事項> | |
| 1) 2021年度助成金等交付辞退に関する件 | 2021年度の留学補助採択者の1名が交付を辞退したため、次点者を繰り上げて交付対象者とした旨の報告があった。 |
| 2) 理事長、副理事長その他代表理事及び常務理事の職務執行に関する件 | 2021年9月1日から12月31日迄の理事長、副理事長その他代表理事及び常務理事の職務執行についてそれぞれ報告があった。 |

(7) 第24回評議員会(2022年3月11日開催)

※WEB会議形式で開催

※WEB会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いに行える仕組みとなっていることが確認された後に開催された。

| 議 題 | 審議内容 |
|---------------|------------------------------------|
| <決議事項> | |
| 1) 議事録署名人選出の件 | 議事録署名人として中西和俊評議員及び匂坂圭一評議員の2名を選出した。 |

| ＜報告事項＞ | |
|------------------------|---|
| 1) 2022年度事業計画の件 | 第36回理事会で承認された2022年度の事業計画について報告があった。 |
| 2) 2022年度予算の件 | 第36回理事会で承認された2022年度予算について報告があった。 |
| 3) 定期提出書類の件 | 第36回理事会で承認された、内閣府公益認定等委員会へ提出義務のある2022年度事業計画及び収支予算等に関する定期提出書類について報告があった。 |
| 4) 2022年度選考委員長及び選考委員の件 | 第36回理事会で承認された選考委員長小澤敬也理事の選定、及び新任選考委員6名に再任12名を合わせた19名の選考委員の選任について報告があった。 |
| 5) 次期諮問委員の件 | 第36回理事会で承認された新任諮問委員3名に再任24名を合わせて次期諮問委員27名の選任について報告があった。 |

3. 公益目的事業に関する事項

① 公益目的事業1 研究助成

(1) 2021年度研究助成の募集課題及び期間

第33回理事会（2021年2月19日開催）において次の課題を決定した。

- 1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- 2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究
- 3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究
- 4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究
- 5) 創薬・創剤の基盤に関する研究
- 6) 創薬とその臨床応用に関する研究

第33回理事会（2021年2月19日開催）において、募集期間を次の通り決定した。

2021年3月1日 募集開始

2021年5月6日 WEB申請締切

(2) 2021年度研究助成の募集状況

1) 研究助成金交付対象者募集要項の広報依頼

募集要項を医、歯、薬関係大学等研究機関136窓口、学会関係については下記の30学会、その他3機関宛てに送付し、関連各部門への広報を依頼した。また、本財団ホームページにも掲載した。

| | | |
|----------|-----------|------------|
| 日本免疫学会 | 日本循環器学会 | 日本肥満学会 |
| 日本生化学会 | 日本分子生物学会 | 日本薬学会 |
| 日本遺伝学会 | 日本病理学会 | 日本農芸化学会 |
| 日本血液学会 | 日本ウイルス学会 | 日本細菌学会 |
| 日本薬理学会 | 日本アレルギー学会 | 日本内分泌学会 |
| 日本内科学会 | 日本皮膚科学会 | 日本癌学会 |
| 日本癌治療学会 | 日本化学療法学会 | 日本生理学会 |
| 日本リウマチ学会 | 日本糖尿病学会 | 日本呼吸器学会 |
| 日本腎臓学会 | 日本動脈硬化学会 | 日本高血圧学会 |
| 日本薬物動態学会 | 日本神経科学学会 | 日本神経精神薬理学会 |

2) 研究助成の応募申請及び交付状況

2021年度の応募申請数、交付数、交付率は次の通りであった。

| 領 域 | 2021年度 | | | | 2020年度 | | | | 2019年度 | | | |
|---------------|--------|------------|-----|---------|--------|-----|-----|---------|--------|-----|-----|---------|
| | 申請数 | 交付数 | 倍率 | 交付率 (%) | 申請数 | 交付数 | 倍率 | 交付率 (%) | 申請数 | 交付数 | 倍率 | 交付率 (%) |
| 1 先端医療 | 83 | 16 | 5.2 | 19.3 | 68 | 13 | 5.2 | 19.1 | 70 | 14 | 5.0 | 20.0 |
| 2 ゲノム機能／病態解析 | 97 | 18 | 5.4 | 18.6 | 91 | 17 | 5.4 | 18.7 | 101 | 20 | 5.1 | 19.8 |
| 3 免疫／アレルギー／炎症 | 133 | 25 | 5.3 | 18.8 | 113 | 21 | 5.4 | 18.6 | 108 | 22 | 4.9 | 20.4 |
| 4 循環器／血液疾患 | 110 | 21 | 5.2 | 19.1 | 128 | 24 | 5.3 | 18.8 | 91 | 19 | 4.8 | 20.9 |
| 5 創薬・創剤の基盤 | 126 | 22 | 5.7 | 17.5 | 124 | 23 | 5.4 | 18.5 | 140 | 28 | 5.0 | 20.0 |
| 6 創薬とその臨床応用 | 93 | 18 | 5.2 | 19.4 | 95 | 17 | 5.6 | 17.9 | 90 | 18 | 5.0 | 20.0 |
| 研究助成 (計) | 642 | 120 | 5.4 | 18.7 | 619 | 115 | 5.4 | 18.6 | 600 | 121 | 5.0 | 20.2 |

※2021年度については115名の計画であったが、各領域の次点者を繰り上げて121名を採択した。その後、領域5にて辞退者が1名であったため120名に交付した。

※2019年度については115名の計画であったが、各領域の次点者を繰り上げて121名を採択し交付した。

(3) 選考委員会における審議

※WEB会議形式で開催

※WEB会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認された後に開催された。

1) 2021年度の研究助成選考スケジュール

| | | |
|-------|--------|-------------------|
| 2021年 | 5月26日 | 選考委員に応募申請書及び採点表送付 |
| 2021年 | 6月25日 | 一次選考期限 |
| 2021年 | 7月26日 | 同点者再評価期限 |
| 2021年 | 7月28日 | 事務局において評価集計 |
| 2021年 | 9月10日 | 選考委員会開催 |
| 2021年 | 11月11日 | 研究助成金贈呈 |

2) 研究助成の評価を担当する選考委員

| 課 題 | 担当委員 |
|--|------|
| 1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究 (多能性幹細胞、免疫／幹細胞治療、移植、再生医療、 遺伝子治療、分子標的治療等の研究) | 非開示 |

| | |
|---|-----|
| 2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究 (ゲノム機能、遺伝子疾患解析、疾患のエピジェネティクス、SNP解析、分子疫学等の研究) | 非開示 |
| 3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究 (免疫制御、アレルギー、炎症、自己免疫疾患、免疫不全、老化、サイトカイン／ケモカイン、免疫調整薬、生物学的製剤等の研究) | 非開示 |
| 4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究 (心疾患、脳血管疾患、血管系疾患、血液、糖尿病、高血圧、高脂血症、メタボリックシンドローム等の研究) | 非開示 |
| 5) 創薬・創剤の基盤に関する研究 (創薬標的分子の探索／機能解析／治療制御、薬物送達、薬物代謝酵素、トランスポーター、イオンチャネル、分子イメージング等の研究) | 非開示 |
| 6) 創薬とその臨床応用に関する研究 (薬物応答修飾因子の探索／機能解析、治療薬の探索／評価、医薬品の開発／評価、個別化医療、トランスレーショナルメディシン等の研究) | 非開示 |

3) 採点は5段階評価で実施

4) 選考委員会（2021年9月10日開催）

各委員より提出された採点表を集計し、慎重かつ厳密な審査の結果、研究助成金の交付対象者を選出した。

(4) 理事会の承認決定

第35回理事会（2021年9月10日開催）において選考委員長より選考結果の報告があり、事業計画においては115名の計画であったが、各領域の次点者を繰り上げて研究助成金交付対象者121名を採択する旨及び交付金額を1件300万円、総額3億6,300万円とする旨を承認、決定した。

(5) 研究助成金の贈呈

2021年11月11日に贈呈式を開催し、研究助成金を交付対象者121名に交付した。
(研究助成金交付対象者は附属明細書参照)

(6) 研究助成金交付対象者の辞退

2022年3月に研究助成金交付対象者1名の辞退者が生じたため、2021年度は120名の交付となった。

② 公益目的事業2 褒賞（持田記念学術賞）

(1) 2021年度持田記念学術賞の推薦依頼及び期間

日本免疫学会等の30学会、本財団の理事・諮問委員及び持田記念学術賞の既受賞者に推薦要項・推薦書を送付して持田記念学術賞候補者の推薦を依頼した。

第33回理事会（2021年2月19日開催）において、持田記念学術賞の推薦期間を2021年5月17日迄とする事が決定された。

(2) 2021年度持田記念学術賞の推薦状況

持田記念学術賞については、理事1名、諮問委員5名及び持田記念学術賞の既受賞者10名及び3学会から計19名の持田記念学術賞候補者の推薦があった。

(3) 選考委員会における審議

※WEB会議形式で開催

※WEB会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認された後に開催された。

1) 2021年度の持田記念学術賞選考スケジュール

| | | |
|-------|--------|--------------------|
| 2021年 | 5月26日 | 選考委員に学術賞推薦書を送付 |
| 2021年 | 6月25日 | 学術賞一次審査期限 |
| 2021年 | 7月1日 | 事務局において一次審査集計 |
| 2021年 | 7月2日 | 選考委員長による二次審査対象者絞込み |
| 2021年 | 7月26日 | 推薦コメント提出期限 |
| 2021年 | 9月10日 | 選考委員会開催 |
| 2021年 | 11月11日 | 持田記念学術賞贈呈 |

2) 各委員より提出された二次審査対象者に対する推薦コメントを基に意見交換した後、投票により上位2名を選出した。

(4) 理事会の承認決定

第35回理事会（2021年9月10日開催）において選考委員長より選考委員会の二次審査結果の報告があり、持田記念学術賞は東京大学医科学研究所西村栄美博士及び理化学研究所大野博司博士の2名とする旨、又、副賞の贈呈金額は1件1,000万円、総額2,000万円とする旨を承認、決定した。

(5) 持田記念学術賞の贈呈

2021年11月11日に贈呈式を開催し、持田記念学術賞を西村栄美博士及び大野博司博士の2名に贈呈した。

③ 公益目的事業3 留学補助

(1) 2021年度留学補助の募集課題及び期間

公益目的事業1の研究助成の募集と同様に行ったが、募集期間については以下の期間で募集した。

2021年3月 1日 募集開始

2021年5月12日 WEB申請締切

(2) 2021年度留学補助の募集状況

1) 留学補助の募集要項の広報依頼

公益目的事業1の研究助成と同様の要領で行った。

2) 留学補助の応募申請及び交付状況

2021年度の実応募申請数、交付数、交付率は次の通りであった。

| 領域 | 2021年度 | | | | 2020年度 | | | | 2019年度 | | | |
|---------------|--------|-----|-----|--------|--------|-----|-----|--------|--------|-----|-----|--------|
| | 申請数 | 交付数 | 倍率 | 交付率(%) | 申請数 | 交付数 | 倍率 | 交付率(%) | 申請数 | 交付数 | 倍率 | 交付率(%) |
| 1 先端医療 | 13 | 3 | 4.3 | 23.1 | 14 | 4 | 3.5 | 28.6 | 24 | 4 | 6.0 | 16.7 |
| 2 ケム機能/病態解析 | 20 | 5 | 4.0 | 25.0 | 10 | 3 | 3.3 | 30.0 | 13 | 2 | 6.5 | 15.4 |
| 3 免疫/アレルギー/炎症 | 20 | 5 | 4.0 | 25.0 | 20 | 5 | 4.0 | 25.0 | 20 | 3 | 6.7 | 15.0 |
| 4 循環器/血液疾患 | 17 | 4 | 4.3 | 23.5 | 17 | 4 | 4.3 | 23.5 | 33 | 6 | 5.5 | 18.2 |
| 5 創薬・創剤の基盤 | 6 | 1 | 6.0 | 16.7 | 7 | 2 | 3.5 | 28.6 | 15 | 3 | 5.0 | 20.0 |
| 6 創薬とその臨床応用 | 9 | 2 | 4.5 | 22.2 | 9 | 2 | 4.5 | 22.2 | 11 | 2 | 5.5 | 18.2 |
| 留学補助(計) | 85 | 20 | 4.3 | 23.5 | 77 | 20 | 3.9 | 26.0 | 116 | 20 | 5.8 | 17.2 |

※2021年度については1名の辞退者が生じたため、次点者を繰り上げて採択し交付した。

※2020年度についても3名の辞退者が生じたため、次点者を繰り上げた。

※2019年度についても1名の辞退者が生じたため、次点者を繰り上げた。

(3) 選考委員会における審議

※WEB会議形式で開催

※WEB会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認された後に開催された。

1) 2021年度の留学補助選考スケジュール

| | | |
|-------|--------|-------------------|
| 2021年 | 5月26日 | 選考委員に応募申請書及び採点表送付 |
| 2021年 | 6月25日 | 一次選考期限 |
| 2021年 | 7月26日 | 同点者再評価期限 |
| 2021年 | 7月28日 | 事務局において評価集計 |
| 2021年 | 9月10日 | 選考委員会開催 |
| 2021年 | 11月11日 | 研究助成金贈呈 |

2) 留学補助の評価を担当する選考委員は研究助成の項に記載した選考委員が担当

3) 採点は5段階評価で実施

4) 選考委員会（2021年9月10日開催）

各委員より提出された採点表を集計し、慎重かつ厳密な審査の結果、留学補助金の交付対象者を選出した。また、留学補助金交付対象者については辞退も考えられることから、繰り上げて交付対象者とする次点者、次々点者を事前に設定した。

(4) 理事会の承認決定

第35回理事会（2021年9月10日開催）において選考委員長より選考結果の報告があり、留学補助金交付対象者20名及び交付金額を1件50万円、総額1,000万円とする旨を承認、決定した。

(5) 留学補助金の贈呈

2021年11月11日に贈呈式を開催し、留学補助金を交付対象者20名に交付した。
(留学補助金交付対象者は附属明細書参照)

(6) 留学補助金交付対象者の辞退及び繰り上げ

2021年度は留学補助金交付対象者1名の辞退者が生じたため、次点者を繰り上げて採択し、交付対象者とした。

④ 公益目的事業 4 研究者招聘助成

(1) 2021年度研究者招聘助成の推薦依頼及び期間

本財団の理事・諮問委員に申請要領・申請書を送付し、研究者招聘助成の推薦を依頼した。
第33回理事会（2021年2月19日開催）において、研究者招聘助成の申請期間を
2021年3月1日から4月9日迄とした。

(2) 研究者招聘助成の推薦状況及び理事会の承認・決定状況

本財団の理事・諮問委員より6件の推薦があり、第34回理事会（2021年5月21日
開催）において全て承認された。また、2021年度採択計画である16件に達していない
ことから、理事会にて承認の上申請受付を継続した結果、4件の追加推薦があり、第35回
理事会（2021年9月10日開催）において全て承認された。

（研究者招聘助成交付対象学会は附属明細書参照）

(3) 研究者招聘助成金の交付

第34回理事会（2021年5月21日開催）以降、交付対象10学会に対して1件あた
り50万円、総額500万円を順次交付した。

4. 寄附に関する事項

(1) 寄附の受け入れ

2021年度には公益目的事業費用として下記の2件の寄附があった。

| 寄附者 | 寄附金額 |
|------------------------|------|
| 日本硝子産業(株)社長 渡邊 一雅 様 | 10万円 |
| 渡邊 宏男 様 | 10万円 |

5. 行政庁に関する事項

(1) 2020年度事業報告及び決算に関する届出

| 提出日 | 提出先 | 提出書類 |
|----------------|--------------------|---|
| 2021年 6月23日 | 内閣府公益認定等 委員会事務局 | <p>WEBにて事業報告等に係わる下記の書類を提出</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事業報告等に係る提出書 2) 財産目録 3) 役員等名簿 4) 役員等名簿（閲覧用） 5) 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類 6) 貸借対照表及びその附属明細書 7) 損益計算書及びその附属明細書 8) 事業報告及びその附属明細書 9) 監査報告（及び会計監査報告） 10) 別紙1 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 11) 別紙2 法人の基本情報及び組織について 12) 別紙2 2. 組織 13) 別紙3 1. 事業の一覧 14) 別紙3 2. 個別事業の内容について 15) 別紙4 別表A（1） 収支相償の計算（50%を繰り入れる場合） 16) 別紙4 別表B（1） 公益目的事業比率の算定総括表 17) 別紙4 別表B（5） 公益目的事業比率算定に係る計算表 その1・その2 18) 別紙4 別表C（1） 遊休財産額の保有制限の判定 19) 別紙4 別表C（2） 控除対象財産 20) 別紙4 別表C（3） 公益目的保有財産配賦計算表 21) 別紙4 別表C（5） 特定費用準備資金 22) 別紙4 別表D 他の団体の意思決定に関与することができる財産保有の有無 23) 別紙4 別表E 情報開示の適正性 24) 別紙4 別表F（1） 各事業に関連する費用額の配賦計算表（役員報酬・給料手当） 25) 別紙4 別表H（1） 当該事業年度末における公益目的取得財産残額 26) 別紙4 別表H（2） 当該事業年度中の公益目的増減差額の明細 27) 滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書 28) 参考資料 監督上の処分等の一覧 |

| 提出日 | 提出先 | 提出書類 |
|---------------|-------|-----------|
| 2021年 7月6日 | 四谷税務署 | 損益計算書等の提出 |

(2) 2022年度事業計画及び収支予算に関する届出

| 提出日 | 提出先 | 提出書類 |
|----------------|--------------------|---|
| 2022年 3月16日 | 内閣府公益認定等 委員会事務局 | WEBにて事業計画書及び収支予算書提出 1 事業計画書 2 収支予算書 3 資金調達及び設備投資の見込み 4 理事会議事録 |